



1/7 松本市成人式

新成人おめでとう!

あがたの森



第三地区

1月7日(日)松本市の成人式が行われました。気持ちの良い青空の下、晴れ着やスーツ姿の新成人が大人の仲間入りをしました。

今年、第三地区では37名の方が成人されました。その中から4名の方に心境や抱負をお聞きしました。新成人の皆さんがそれぞれの進路で大きく活躍することを期待します。

藤森 智子 (東長沢町会)
成人式を迎えた私は、将来一人一人が住みやすい社会作りに貢献していきたいと思っています。今、東京の大学で「共生」について研究をしています。家族との共生、友達との共生、地域の人との共生などありますが、私が特に興味を持っている共生は、障がいを持った子どもたちとの共生です。特別支援学校への研修の折、彼らが私たちと同じ学校生活を送っていることに感動し、将来、障がいを持った子どもたちとの「共生の場」づくりに貢献したいと思いました。今まで私を育ててくれた家族、小中高の先生方、さらには地域への恩返しとして、社会人の自覚を持ち生活したいと思います。

舟久保 瞭 (県北町会)
私は高校卒業の際に、やりたい仕事や究めてみたい専門知識などの目標が見つけられず、大変悩んでいました。恩師や両親の勧めもあり、大学生生活の中で時間を掛けてそれを捜すこととして上京しました。

学生生活では、専攻科目など全て自分で選択・決定しなければならず、自己責任が伴いますので、その分自覚と責任感が生まれてきています。私は「20歳になった」といつても、まだ大学2回生の身ですし人生の目標も定められずに模索中ですので、恩師や両親への感謝や恩返しは卒業後に取っておきます。

金井 真希 (若松町会)
成人式を迎え、喜びと共にこれから本格的に社会の仲間入りをしていくことへの不安を感じています。私は現在、親元を離れ、大学に通っています。そこでの新たな経験を通して、自分が今までどれだけ多くの人に守られ、家族をはじめとした周囲の人にどれだけ甘えてきたのかを、実感させられました。社会とは、自分で考え、自分

で行動するということが求められる場であると思えます。私は、今日成人した自分に、目の前にいる人を大切に、自立した人間になるということを約束します。そして最後に、自分が出会った全ての人に、今日を迎えられたことを深く感謝いたします。

田嶋 響 (四ツ谷東町会)
私は今年、成人の仲間入りをしました。しかし私は20歳にふさわしく成長しているのでしょうか?これまで、私は多くの選択をしてきました。その度に両親、恩師、そして友人に相談し支えられ、判断してきました。楽しかったこと、つらく苦しいことが多くありました。一人で全てのことを決めていく力はない知識も少ない、そんな20年間でした。そんな今までの自分と比べて今の自分はどうかでしょうか?大学生となり両親から離れ東京で一人暮らし。自由になった分、今までどれだけ甘えた生活をしてきたか思い知らされました。20歳になったから成長しているなど、とんだ思いあがりです。周りを敬い感謝して日々精進していかなければと身を引き締める思いです。

第三地区緑化推進事業



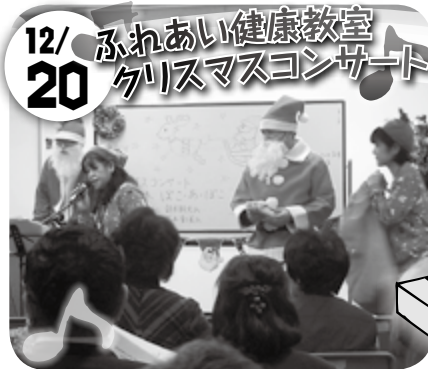
11/11

11月11日(土) 第三地区緑化推進委員の皆さんが、あがたの森公園の前にある花壇に花を植えました。毎年春と秋の2回、松本市から季節の花をいただいで植えています。皆さまも花壇の前を通る際に是非ご覧ください。



第三地区SNコンクニ

年末にはサンタクロースが第三地区にやってきました。子どもから大人まで、みんなでプレゼントをもらいました。



12/20

ふれあい健康教室
クリスマスコンサート

12/21

あがた児童センター
クリスマス会



何がもらえるかな

しめ縄・お飾り講座



12/24



12月24日(日) しめ縄・お飾り講座が行われました。3人の講師の先生に分かりやすく丁寧作り方を教えていただき、12名の参加者は熱心に制作に取り組みんでいました。



お正月用フラワーアレンジメント講座

12月27日(水) お正月用フラワーアレンジメント講座が行われました。10名の参加者は、講師の指導を受けながら用意された素材をオアシスにさしていき、まさしく十人十色のそれぞれ個性ある素晴らしい作品ができていきました。



花器付きでも素敵です



12/27

湧き水

2月9日、韓国ピョンチャンで第23回冬季オリンピックが開幕する。日本選手団の活躍が期待されるが、中でも茅野市出身、相澤病院所属の小平奈緒選手は、金メダルの最有力候補である。日本女子スピードスケート界初の金メダル獲得が実現しそうだ。

冬季オリンピックというと、1998年の長野大会が身近だが、私は札幌大会の前にフランスで開催された1968年の第10回グルノーブル大会が印象深い。大会後に作られた記録映画のメインテーマ曲「白い恋人たち」。ロマンチックな名曲だ。若い人達には、同じ曲名で桑田佳祐の「白い恋人達」の方が馴染み深いかもしれないが、桑田の曲はこの映画を鑑賞した帰り、電車の中で生まれたものである。

この映画の原題は直訳すると「フランスにおける13日間」だが、これを「白い恋人たち」とネーミングしたのは映画配給会社の最大の功績だ。

あれから半世紀だが、この曲が流れると、グルノーブルの雪の光景が目につく。(行ったことは無いが) (海野 幸頼)